



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 362

令和7年5月30日（金）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141



「ここで輝きます」

校長 後藤 正美

私は、見小っ子の運動会の姿が大好きです。それは、6年生が自分たちらしさを発揮しながら、毎年素晴らしい姿で全校をリードしてくれるからです。今年のピース学年は、「本気（マジ）の団結力」を合言葉に、決してピリピリすることなく、全校の調和を上手に作ってくれました。団結力を高めるには、「目標・役割・モチベーション」など様々なポイントがありますが、「互いをほめ合う風土」も大切です。応援練習では、応援団が各学年の列に入り、監視ではなく、よさをほめながら見本を示す姿が印象的でした。

運動会は、ともすると集団のまとまりで評価される場面が多く、合わせた動きができない子や、苦手意識のある子にとってはつらく感じることもあるでしょう。しかし、見附小で目指している運動会は違います。苦手な子でも自分が輝く場所、全力を出し切れる場所を考えて挑戦する姿を目指してきました。教員ではなく子供を前面に出し、その子なりの主体性を育てる機会にしたかったのです。オリジナル団体種目やアピールタイムを取り入れたこと、開・閉会式の全校練習をしない計画にも挑戦しました。子供発信のアイデアやちょっとした演出・言葉を入れながら意欲を引き出していく。形は様々ですが、その子なりの成長チャンスの機会を目指しました。

学習室2の教室には、「うんどう会はココでかがやきます」と、一人一人の目標が書かれていました（写真左）。3年生廊下には、「つな引きで、音速のように速く助けに行く」という目標を書いていた子もいました。大切なのは、その子なりの思いです。

結果的に応援は同点となりましたが、「全力を出し切る姿は恰好いい」という見小の最高学年の姿は、着実に後輩へ引き継がれたと感じました（写真右）。『実生の輝き』とは、一人一人が輝くことで学校全体が輝くという願いを込めた言葉です。今回、残念ながら体調を崩したり力を出し切れなかったりした子には、これからの成長チャンスを生かせるように支援していきます。

運動会では、多くの皆様からの参観やサポートをいただきました。中学1・2年生の片付けボランティアの多さには、「さすが見小っ子」と、誇らしく思いました。これからも素敵な子供たちをはぐくむために、教育活動へのご協力をお願いいたします。